

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC) |
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/pdf/publications/suicnewsletter_vol.24.pdf
.....

◆◆◆ Vol.24 2010.3.29 ◆◆◆

信州大学国際交流センター ニュースレター
Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter

◆◆◆ ◆◆◆

発行：信州大学国際交流センター(SUIC)
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

[今号の目次]

- * ごあいさつ
- * 最近の出来事
- * スタッフ近況報告 (赤羽正雄教授 国際交流センター長)
- * 生活ちょっとコラム

■□
□ ごあいさつ

松本は、一時汗ばむほどの春の陽気になったかと思えば、先週は20cm以上の雪に見舞われ、久しぶりに信州の冬らしさを実感しました。

さて、2月に開催されたバンクーバーオリンピックも、あっという間に終わってしまいましたが、国を上げてみんなで応援するっていいですね！
どの選手も過酷な練習を重ね、プレッシャーの中、ひたむきに試合に挑む姿には本当に感動しました。

信大からは3名の選手—原田窓香選手（教育学部3年）、小口貴久選手（大学院教育学研究科修了）、小平奈緒選手（教育学部卒業）—が参加し、3月4日にはバンクーバーオリンピック出場報告のために学長室を訪れたそうです。

詳細はこちら⇒
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2010/03/post-288.html>

4年後もまた楽しみに応援したいです！

（小林 道）

■□
□ 最近の出来事

▼トピックス

★信州大学創立60周年記念事業 信州大学登山隊、ヒマラヤに行く

信州大学創立60周年を記念して、信州大学山岳会とOB60余名が参加し、昨年秋にネパールヒマラヤの登山とトレッキングに挑みました。最後の第一チームがネムジュンの難所の登攀（登攀：登山で、厳しい岩壁などをよじ登ること）を成功させ、11月14日に帰国し、全ての山行が無事終了しました。

詳細はこちら⇒
<http://sac60th.blog91.fc2.com/>

★ロボコンプロデュース2009 信州大学ロボット研究会チーム優秀賞を受賞！

ロボコンプロデュース2009(日本機械学会主催)は、「小・中学生を対象とした新しいロボットコンテスト(ロボコン)」の企画・運営をシミュレートし、その面白さ、独自性、企画力、技術的内容、完成度、プレゼンテーション能力を競うコンペティションです。

信州大学繊維学部からは信州大学ロボット研究会(SURL)チームが参加し、優秀賞(準優勝)を受賞しました。

詳細はこちら⇒

<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2009/12/post-276.html>

★2009年度後期修了発表会が開催されました

2月2日、全学教育機構大会議室を会場に、2009年度後期修了発表会が開催され、14名(交換留学生プログラム9名、日本語研修コース5名)の発表がありました。

詳細はこちら⇒

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/aboutus/2009-16.html>

★南オレゴン大学を訪問しました

2010年1月29日(金)、赤羽国際交流センター長と国際交流課員2名が、本学の協定大学であるアメリカの南オレゴン大学を訪問しました。

詳細はこちら⇒

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/aboutus/intl-act/agreement/post-17.html>

★カトリック大学ルーヴェンとマンハイム大学を訪問しました

国際交流センター佐藤准教授と国際交流課員2名が、2010年2月23日(火)にカトリック大学ルーヴェン(ベルギー)を、2月25日(木)にはマンハイム大学(ドイツ)を訪問しました。

詳細はこちら⇒

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/aboutus/intl-act/agreement/post-21.html>

▼イベント報告

★松本留学生応援ファミリーの会「Let's Ski」

毎年恒例の「Let's Ski」が、1/30(土)に乗鞍高原いがやスキー場(松本市安曇)で開催されました。本学の留学生も39名参加し、会の皆さんとゲレンデで楽しい時間を過ごしました。

詳細はこちら⇒

http://www.city.matsumoto.nagano.jp/tiiki/kokusai/ouen/2009/2009_2/index.html

★「”雅”(みやび) きものの世界」のイベントに交換留学生が出演しました

2/13(土)、松本きもの研究会主催のイベント「雅」が松本市内のホールで開催され、本学の交換留学生2名(韓国のキム・ソンヒさん、ロシアのオリガさん)が友情出演しました。

日本の伝統の着物を美しく着こなし、インタビューで二人は、「きものを着れてとてもうれしい、将来日本との架け橋となるような仕事をしたい」と笑顔で答えてくれました。



大学の近況

去る12月16日に「信州大学国際化推進プラン」が制定されました。現在約12万人の外国人が日本に留学しています。1983年中曽根内閣が、当時1万人であった留学生を10万人にまで増やすとの「留学生10万人計画」を発表し、その目標は2003年によく達成されました。2008年には、福田内閣が「留学生30万人計画」を発表し、2020年に向けて現在進行中です。

この背景には、社会・経済活動全体がグローバルに展開されるようになってきており、個人的にも組織体としても国家としても、民族・宗教・言語などを超えたワールドワイドな中長期視野での活動が一層求められてきていることがあります。

大学も例外ではなく、学生が世界的な視野で大学を選び、研究者も世界的な視野で働くべき研究所を選択するようなグローバル競争の時代にさらされています。

このように学生・研究者が国境を越えて流動しているなかで、大学の教育・研究のレベルを維持し、発展させていくためには、大学自身が国際社会の中に積極的に身を投じなければなりません。そして、その中でどう振舞っていくのかが問われています。このような状況の下、信州大学国際化推進プランを策定しました。

国際化推進プランの前書きに、「信州大学は、国際化社会が進展する中で、国際的に競争力のある教育・研究拠点を構築・強化するため、単なるキャンパスの国際化に留まらず“大学の真の国際化”を目指す。

このため、国際的通用性のある質の高い教育課程と教育内容を通じて、国際社会で活躍できる有為な人材を育成するとともに、国際的に評価される世界トップレベルの研究を中核として特色ある世界水準の研究を推進する。

また、留学生の受入拡大と日本社会への就業機会の拡大などの外部要因を踏まえ、大学院により軸をおいた質の高い留学生受入および学生・研究者の留学・派遣などを本学の独自性を発揮しつつ戦略的に推進していく。」と述べられています。

そして、「1. 国際的通用性を高める」「2. 国際的先端性を高める」「3. 国際的連携性を高める」の3つを基本の柱（大項目）を定めています。その下に各々3項目ずつ（1）～3）の中項目があります。

1. 国際的通用性を高める

世界に通用する質の高い教育体制を構築し、国際社会で活躍できる有為な人材を育成する。

- 1) 世界の多様な文化・思想を受容しうる基盤の形成
- 2) 国際社会で活躍できる高度専門人材の育成
- 3) 国際的通用性に配慮した教育課程と教育内容等の充実

2. 国際的先端性を高める

国際的に評価される世界トップレベルの研究を中核として、国際化時代をリードしていく特色ある世界最高水準の教育研究拠点を形成する。

- 1) 世界最高水準の研究基盤を基に、複数の世界的先端研究拠点の構築
- 2) 国内外の大学、教育研究機関などとの連携により、研究ネットワークの形成。

- 3) 次世代の中核を担う研究者の育成

3. 国際的連携性を高める

意欲的で優秀な質の高い留学生、先進的な研究者との相互交流を活発化させ、国際的な人材育成・人脈形成、異文化理解の拠点となる。

- 1) 外国人留学生、研究者の受入及び本学学生の留学、教職員の海外派遣の促進
- 2) 国内外の大学との連携強化
- 3) 地域社会が多様な文化をもつ外国人と共生できるよう、地域社会の国際化への積極的支援

更に、ここでは省略しますが、より具体的な内容が小項目として定められています。例えば、3-3)の小項目には、「留学生ネットワークの構築を進める」と記されています。留学生OB・OG会の設立、連絡網の整備、地域(国)ごとの同窓会などが活動候補として考えられています。実施の際には皆様のご協力をお願いいたします。なお、「信州大学国際化推進プラン」全体につきましてはホームページをご覧ください。

最後になりますが、信州大学の留学生OB、OGの皆さんは、この国際化時代の要請を先駆的に実践されてきたわけですので、新しい時代の先駆けとして、ますますのご活躍を祈念しております。



生活ちょっとコラム

3月3日は”ひな祭り”としている地域が多いと思いますが、信州のような寒冷地では4月3日に行うところもあるようです。ちなみに海外にはそのような行事がないようですが。。

女の子の健やかな成長を祝うお祭りで、雛人形を飾ったり、ごちそうやケーキを食べたりするのが一般的でしょうか？我が家にも小さな雛人形が4年ほど前に来て以来、毎年この時期はそのかわいらしい姿に癒されています*^^*

(小林 道)

●○●○●○●修了者データベース登録のお願い○●○●○●○●○
国際交流センターでは、留学生の帰国後のフォローアップの一環として、データベースの作成と活用をすすめています。
まだこのフォームを提出されたことのない方は、ぜひ記入にご協力下さい。
また、このニュースレターの配信先メールアドレス変更もこちらからできます。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/alumni/database/alumni-database.html>



◆配信元：信州大学国際交流センター(SUIC) 文責：小林(道)
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
Tel: 0263-37-3167 / Fax: 0263-37-2181
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

◆連絡先：iad@shinshu-u.ac.jp

*各種お問い合わせ
*配信停止希望
*メールアドレスの変更のご連絡
*情報掲載のご希望
*ご意見、ご感想 など